

50

かんしゅう

ほるぷ出版^{ほん}

和室はすごい
木から家が
できるまで

和室の
基本シリーズ

モリナガ・ヨウ 遠江紳一



桜が丘・清原図書館は 12/28(日)~1/5(月)



ヤーガの走る家 93ア

この本は、おどろきの絵本です。

Yaga no Ie mo 3

Yumiko Kuroda

イタチと野ネズミのはなし

91ヤ

やましたまさひろ

山下雅洋/作 しもかわらゆみ/絵 アリス館

野ネズミが作る野菜たっぷりのスープは
とてもいいにおいがします。野菜ぎらいのイ
タチさえ、そのスープをおいしいと思いま
した。出会ったばかりのころ、イタチは野ネズミ
を食べるつもりでした。でもそれではおいし
いスープが食べられなくなります。イタチは
野ネズミと暮らすことにしました。すっかりな
か良かったふたり。ところがある日、野ネズ
ミが外へ出たきり帰って来なくて…。

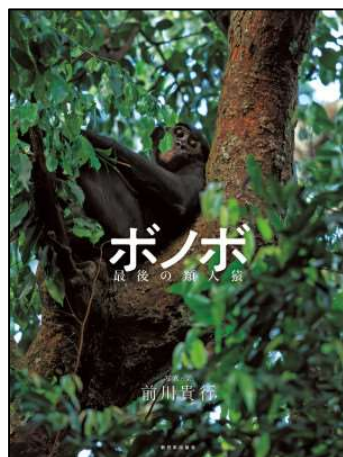


ボノボ –最後の類人猿–

45

前川貴行/写真・絵 新日本出版社

この本は、動物写真家の前川さんが、研究
者とともに「ボノボ」に会いに行く旅のエッセ
イです。ボノボは、チンパンジーやゴリラとい
った類人猿の仲間で、もっとも人間に近いとい
われています。アフリカ中部のコンゴ共和国
にある熱帯雨林でくらして、いつか絶滅
するかもしれないと考えられています。ジャン
グルの中で前川さんは、ボノボのどんな写真
をとったのでしょうか。



ブックキャット –ネコのないしょの仕事！–

93フ

ポリー・フェイバー/作 クララ・ヴリアミー/絵
長友恵子/訳 徳間書店

モーガンは、第二次世界大戦のころロ
ンドンで生まれた黒ネコ。お母さんと妹と
3匹でくらしていましたが、空襲で一人ぼ
っちになってしまいます。ひょんなことか
ら、出版社に住む「ブックキャット」として
働き始めたモーガンですが、ある日、出版
社にも爆弾が落ちてきました。ロンドンの
子ネコたちを守るため、モーガンはおどろ
くべき計画をスタートさせます。



ラクダで塩をはこぶ道 –サハラ砂漠750キロの旅–

Yス

エリザバス・ズーノン/作 千葉茂樹/訳 あすなろ書房

アフリカのマリ共和国にあるタウデニ
の街は、砂漠の真ん中にある岩塩の産
地です。掘り出した岩塩は、板のように
切りそろえて、十数頭のラクダにくくり付
けて運ばれます。砂漠をこえて750km
はなれた街まで旅をして、そこで岩塩と
いろいろな品物とを交換し、タウデニま
で持ち帰るのです。初めてラクダのキャ
ラバンに加わる少年の旅の絵本です。

